**第1回GPRインビテーショナルフットゴルフトーナメント**

**ローカルルール**

**今大会では、FIFG規則に優先して、以下のローカルルールを適用する。**

**１．競技における規則について**

**１．１．ティーオフについて**

**スタートホールにおけるオナーは、ペアリングの一番左の選手とし、左から右の順番にティーキックを行うこととする。但し、間違った順番でプレーしたとしても、ペナルティにはならない。**

**１．２．1ホールの最大ストローク数**

**1ホールの最大ストローク数は、そのホールのパー数×2とする。**

**(例:パー3では、3×2=6ストロークが最大スコア)**

**１．3．境界について**

**アウト・オブ・バウンズは白杭、ラテラル・ウォーター・ハザードは赤杭又は赤線、修理地は青杭又は白線をもってその限界を表示する。又、表示のない池は水際をもって境界とする。**

**２．荒天時の対応について**

**２．１．中断について**

**雷等で競技を中断する場合は、大会スタッフが各選手に知らせる。競技再開の合図も大会スタッフにより告知をするものとし、選手が自身のマークの位置に戻ったのを確認したのち、プレーを再開することとする。**

**２．２．中断中の練習について**

**中断中、選手は、競技委員会の許可なくして練習を行ってはならない。なお、明らかに自身に有利となるような悪質な練習行為が見つかった場合は、競技委員の判断により該当選手を失格とする場合がある。**

**２．３．サスペンデッド**

**悪天候またはその他の理由により競技が中断される場合がある。また、同日中の競技消化が不可能であると競技委員会が判断した場合は、協議委員会の裁量の元、短縮での競技成立もありえる。**

**翌日以降に、中断されたラウンドの残りのホールの競技は実施しない。**

**２．４．競技短縮**

**悪天候またはその他の理由により、競技消化が不可能であると競技委員会が判断した場合、競技委員会は、当該競技を短縮することができる。**

**２．５．プリファードライについて**

**悪天候またはその他の理由により、コースコンディションが不良になった場合、競技委員の判断によりプリファードライを設けることがある。プリファードライを設ける場合、競技委員は、第一組がスタートする前に、競技委員による競技説明において、全ての選手にプリファードライが設定されることを周知する。プリファードライが設定された日の競技においては、コース上において、マークの上、ピックアップを可とし、救済のニヤレストポイントからプレーする。**

**２．６．プリファードライ導入時のボールのピックアップについて**

**悪天候によりプリファードライを設けた場合、ボールをピックアップした際には無罰でボールを拭いても良いこととする。**

**３．その他**

**３．1．記載のない事項**

**本ローカルルールに記載のない事項が発生した場合、主催者及び競技委員会で都度競技を行い決定する。**